

会議議事録（要旨）

1	会議名	平成 29 年度 第 3 回阿賀町地域公共交通協議会
2	開催日時	平成 29 年 10 月 31 日(火曜日) 午後 2 時 00 分から
3	開催場所	阿賀町役場 多目的ホール
4	出席者名	波田野会長、鳩山副会長、小松委員、三浦委員、古田委員、長谷川正美委員、薄委員（代理）、廣瀬委員、長谷川勇委員、井上委員（代理）、藤安委員（代理）、関委員、斎藤委員、小林委員（代理）、植木委員、樋口委員、大江委員（代理）、中野委員（代理）、青野委員（代理）、高橋智彦委員 【欠席】高橋清吉委員、伊藤委員、中川委員、神田委員、竹村委員、米山委員、清田委員
5	議題	(1) 阿賀町生活交通アンケート調査集計結果 (2) 計画の目的及び関連計画の整理 (3) 地域及び公共交通の現状 (4) 阿賀町地域公共交通網形成計画【骨子案】
6	協議結果の概要	・議題(1)～(4)について事務局より報告があった。
7	審議の内容	
	【議題】	(1) 阿賀町生活交通アンケート調査集計結果 (2) 計画の目的及び関連計画の整理 (3) 地域及び公共交通の現状
	事務局	・資料に基づいて議題(1)～(3)について説明。
	青野委員(代理)	・郊外の公共交通を維持し続けるのではなく、町の中心部に公営住宅を建てることで郊外に住んでいる方々に移住してもらうような施策は検討しているのか。
	事務局	・郊外に住んでいる方々は、田や畑などの農作業をしながら現在の家に住み続けたいという思いがある方が多いため考えていない。
	高橋智彦委員	・公共交通の見直しのためには、利用者ニーズの的確な把握や実際の交通サービスのギャップの解消、潜在需要の取り込みを行うことが重要。アンケート調査結果から、住民の移動手段やどこからどこまで移動したのか等のOD面について分析してはどうか。 ・施設毎に用を足す時間（例：病院 1 時間程度、商業施設 30 分程度）を踏まえると、2 箇所以上立ち寄る施設を分析していることは、循環バスのダイヤを検討していくうえで有用。もう一歩進んで、潜在需要を取り込んでいく観点から、公共交通利用者以外を含む住民アンケートにおいても同様に分析しては如何

事務局	<p>か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題の中で、路線バスと福祉バスが競合しているとあるが、公共交通網図をみるとスクールバスも競合していると考えられるため、課題に含むべきではないか ・一部鉄道ダイヤが誤っている箇所があるので再確認すること。 ・ご意見を参考に今後内容を見直したいと思う。
鳩山副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・整理した結果に対して「なぜこのような結果となったのか」という視点が少ないように感じる。想定される理由でも良いので入れるべきではないのか。例えば、福祉バスの利用者が平成27年度から平成28年度で大きく減少しているが、これはなぜか。 ・公共交通の維持にどれだけ負担がかかるかを明らかにするために1人あたりの負担額についても整理する必要があると考えている。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉バスの利用者減少については、平成27年度までは高齢者の温泉利用を無料とする事業を実施していたが、平成28年度からは様々な課題があり事業を実施しなくなったため、温泉目的で利用していた方の利用が減少したと考えている。 ・その他指摘頂いた内容については今後検討したいと思う。
	<p>(4) 阿賀町地域公共交通網形成計画【骨子案】</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料に基づいて議題(4)について説明。
高橋智彦委員	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客に対する移動手段の確保を「課題」や「公共交通の役割」で掲げているが、「目指すべき将来像」や「目標」では、「この地に暮らす人が・・・」となっており、一貫性がない。公共交通を利用して欲しいターゲットは、住民なのか、観光客等の来訪者も含まれると考えているのか。来訪者もターゲットにするのであれば、利用者ニーズとのギャップを把握する観点から、OD等を把握することが必要になる。 ・各関連計画では、「効率的な運行」がひとつのキーワードとして記載されているが、一方で網形成計画の目標では、「多様な移動ニーズに対応」との記載があり、双方の考え方に齟齬が生じているので、整理が必要。 ・将来の公共交通ネットワーク図は、なぜこの分類としたか、各幹線がどの交通モードに対応するのか等について不明。特に都市間幹線と町内幹線で一部区間が重複している。なぜこのような交通ネットワークにするのか、町としての考え方を示すべき。 ・循環バスの導入とあるが、管内では、このような新規の交通サービスを導入す

	<p>ると、他自治体では住民の巻き込み方が不十分であることが影響して、利用が芳しくない例が多い。導入するのであれば、パブコメ以外にも住民説明会の実施等を通じて、しっかりと住民からの合意を得ることが必要。</p>
<p>鳩山副会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住民との協議は非常に重要だと考えている。他地域の事例を見ても住民と協議して実施した公共交通は成功することが多い。逆に行政の考えだけで実施した公共交通は利用されないことが多いため、この点についても留意してほしい。
<p>【その他】</p>	<p>阿賀町内の路線バスについて</p>
<p>古田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在深刻な運転手不足となっていて、今まで通りの運行頻度を維持するのが困難な状況となっている。そのため、利用者の少ない路線についての対応について今後相談させていただきたい。
<p>【その他】</p>	<p>今後のスケジュール</p>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次回協議会は12月を予定している。

■協議会の様子

